2011～2012

ワイズメンズクラブ国際協会　西日本区

京都部　部報

Bulletin 2011-2012 Vol.2　2012.3 発行

京都部部長主題	志を共有し、小さな１歩大きな前進　＝思いやりと感謝の気持で粘り強く＝
西日本区理事主題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 “Contribute to the Community through Active Services with Love” 副題　理想を目指して変革と行動！ “Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”
国際会長主題	“Audere est Facere — To dare is to do”「とにかくやろう—成せば成る」
アジア地域会長主題	“To dare is to do”「とにかくやろう—成せば成る」 スローガン　“Mission with Faith”「信念をもって使命をはたそう」

『ワイズを心の支えに…』

第16代　京都部　部長　前　　登
（京都みやびワイズメンズクラブ）

2012年の新しい年を向えいよいよ下半期となりました。上半期では、標語「志を共有し、小さな１歩大きな前進」、副題「思いやりと感謝の気持で粘り強く」を胸に、京都１６クラブの訪問と京都部部会、メネット部会、その他各主査の懇親会を実施してまいりました。

京都部はクラブ数も多くその活動も多岐に渡ります。また今年は東日本大震災の発生により震災支援活動もいろいろな方面で活発に実施されました。

各クラブの活動情報を把握すると同時に各事業の推進のため、今期は各事業懇談会をすべての事業主査にお願いいたしました。特に広報や交流懇談会の実施において、クラブ間の情報交換やコミュニケーションの向上がいささかでも図られていれば幸いです。

京都部部会では通年のホテルでの講演方式から、体育館を利用したレクレーション運動方式にチェンジし、普段なかなか訪問できない福知山で福知山クラブと共同開催をいたしました。福知山での実施のため、朝早くから会長をはじめ参加者の皆様には一日中の拘束となりましたが、遠方にもかかわらず各クラブから300余名の参加をいただき、たいへん感謝いたしております。

普段の例会ではなかなかできない運動を皆で競うことにより、他のクラブメンバーとの交流や連携強化ができ、隠れたメンバーの才覚も発見できたのではないでしょうか。スタッフの皆様にもこの紙面をかりあらためてお礼申し上げます。

また新たな試みはワイズメンズクラブの広報のため京都ＹＭＣＡが事務局となり京都ではじめて開催の「AIDS文化フォーラム」に協賛して、1000名以上の来場者と接することができました。京都の多くの他団体と共同で参画することや、広く一般来場者の皆様へのアピールのきっかけも作ることもできました。

当初４カ月あまりはかなりハードな日程での行事になりましたが、多数の行事や事業に参加していただいたメンバーの一つ一つの活動が京都部ひいては西日本区のワイズメンすべての前進の源になると信じております。

京都部のメンバー数も500名まであと一歩となりました。常に新陳代謝のあるメンバー構成とメンバー増強がクラブの活力を生む源でもあります。今後ともＥＭＣには力を抜くことなく努めてゆきましょう。

残りの半期もまだ多くの行事が控えており、東日本大震災の支援も継続しております。ワイズの活動はこの先も永遠に続き引き継がれてゆくものですが、京都のワイズの土壌が、メンバーひとりひとりの心の支えと力の源になるように、微力ながらも努力してゆきたいと思っております。

上半期活動報告

京都ワイズメンズクラブ
会長　**新井美子**

京都クラブの会長として、その重責に恐る恐るスタートしましたが、メンバーに助けられようやく半年が過ぎたという心境です。この間、たくさんの学びをいただきましたが、果たして私は皆さんのお役に立てているだろうかという自問自答を繰り返しています。

京都クラブ今期初の事業は、7月3日のサバエワークで草刈を担当しました。そして、恒例事業の祇園祭宵山夜店を三条YMCA前にて開催しました。収益はYMCAに寄付すると共に、メンバーが楽しくコミュニケーションを図る事業でもあります。8月には、YMCA主催の福島から避難されている家族のためのファミリーディキャンプに資金援助と、流しソーメンのお手伝いを担いました。HIV患者の家族の方を支援されている“チャーム”の多文化キャンプでは夕食作りの支援を行いました。9月にはリトセン秋期ワークとして、研修宿泊棟周りの整備と草刈を担当しました。続いて日本語科留学生&国際リーダーのYYWプログラムの中の夕食支援では、ステーキやおにぎりだけでなく、すいか割りなどで大いに楽しんでいただきました。11月には、国際協力街頭募金に参加。京都YMCA学園祭では、ロビーのステージ設営や、カラオケ大会の支援とwebネットでの配信をしました。オータムフェスタでは、豚マンとポン菓子を提供しました。第4週にはクリスマスを迎えるに際し、三条YMCA会館にクリスマスイルミネーションの飾り付けを行い、12月に入ってYMCAのロビーコンサートには初日を担当、クリスマスキャロリングにも参加しました。また、いのちの電話主催・チャリティ―コンサートの支援も毎年行っています。

クラブ内おいては、1名の新入会員を迎えることができ、一方、新たなDBC締結をめざして三島クラブとの交流と親睦を図りました。後半期に向けて、より充実した活動を行っていきたいと思います。

福知山ワイズメンズクラブ
会長　**足立長逸**

◇　恒例の第26回クリーン弘法川&魚つかみ大会、台風6号の関係で川掃除を急遽22日に変更、それでも共同主催の自治会メンバーや子供たちが続々と集まり、また、京都府や信用金庫の職員、商友会員など60名余りの加勢で、総員140名による川の草刈り、空き缶拾いなどに取り組み、今年もYMCA会館前付近の川200m以上がきれいになった。24日は、この川に約150人の親子が訪れ、アユ、ウナギなどの放流魚300匹、近年は天然のアユもいて、水しぶきを上げて泳ぐ魚を網ですくったり手づかみして楽しんだ。また、大勢の幼児が、YMCA会館前の広場で金魚すくいを楽しみ、この混成団体の一大プロジェクトをYMCAの名のもと少数のワイズメンが背負い、無事故で成果を積み上げることができた。

◇　9月11日の第16回京都部会、福知山クラブが、部会をホストするのが39年振り、2年に亘る中原実行委員長の緻密な構想、福知山クラブの再生の熱い思いのみやびクラブの全面的支援のもと、三段池公園総合体育館現場の事前調整、管弦楽団、チアガール、競技の支援スタッフ、丹波紫ズキン等の商品の手配等々、少数メンバーがそれぞれの持ち味を生かした働きで、スポーツを通してメンバー交流の成果を上げることができ、福知山クラブとしてこの部会から大きなパワーを貰ったのでした。

◇　12月17日のクリスマス例会、メン、メネットのほか、久々に若手のゲストメンバー8名、小中学生など7名参加の家族祝会となり、YMCAバイオリン教室の永田ゲストによるアトラクションは、若い歌声に包まれ盛り上がった。この若いエネルギーを下半期に繋げていきたいものです。

上半期活動報告

京都パレスワイズメンズクラブ
会長　森田　美都子

本来ならば無事40周年記念事業を終えてほっこりムードで取り組むはずの41期が、日本中をゆるがした想定外の大震災により苦渋の式典中止を選択、そして奮起！プラスワンの起動力をパレスから発信しようではないかとメンバーの意識が高まる中この41期はスタートしました。

今期の私の会長テーマである会員増強の意識は弛むことなくしっかりと手綱を握りしかしその中でメンバーは親睦という輪を以って新旧コラボのワイズ活動を展開しようではありませんかの謳いかけは形式ニュアンスは異なれどブレることなく全メンバーが感触を一にするところとなりつつあります。

Ｙサ委員会はベテランが従来の活動を新人に指導しつつ新しいアイディアを取り入れての理想的な動き。

Ｃ／Ｓ委員会は和敬学園を中心とした活動ですっかり学園生とは溶け込み温かい中に得も知れぬ信頼感育成。

ＥＭＣ委員会は毎月のオリエン激務を全うし半期７名ゲットの快挙。ミニロースター発行も親睦に大貢献グッズ。

ファンド委員会は筆頭、ポテトファンドの大功績。Tシャツ、オークション、お餅ファンドと全てインパクト強。

広報委員会は７月１日にパレスクラブのキックオフを全世界メンバーに向けてユーストリームで発信。

毎月のブリテンを年４回のまとめ紙面発行に切り替え、経費を本来の広報活動に徹っする取材費への新試行実施。

交流委員会は台湾でのアジア大会参加、香港九龍クラブからのＩＢＣ締結オファー来京で今後も多忙な活躍予測。

ドライバー委員会は毎回が個性的に内容濃き選択によりメンバーが例会に付加価値を見出す企画捻出で期待大。

わがパレスクラブは「40プラス１周年記念式典」を控えて益々の活動を後期も弛むことなく進み読けます。

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長　島　田　博　司

７月21日のキックオフ例会から始まりました私の期も早半年が過ぎました。キックオフ例会では１年間の私の思いとお手伝いいただく三役、役員の方々にスピーチをしていただきスタートいたしました。８月の納涼例会では、例会場であります京都ロイヤルホテル＆スパの１階バー・ヘブンのバーテンダー佐々木氏にカクテル講座と題しまして家で簡単に作れるカクテルを教えていただき、実際に体験し皆でいただきました。そしてIBC兄弟クラブであります台北ダウンタウンクラブがホストをされました台湾アジア大会へ11名で参加いたしました。９月メネット例会では筆跡心理士でおられる中村喜美代様による「筆跡を変えれば自分も変わる」をテーマにご講演いただきました。10月会員増強例会では森明子先生による「ウエルネス体操のお話」をたくさんのゲストの方と一緒にお聞きし、身体を動かしました。そして新入会員の入会式を執り行いました、11月は部長公式訪問例会といたしまして、前京都部部長、吉田ファンド主査、山中メネット主査にお越しいただきスピーチをしていただきました。そして10月末にDBC東日本大震災慰霊の旅にクラブを代表して行っていただいた森田ワイズと桂ワイズに旅の報告発表をしていただきました。12月クリスマス例会では各委員会対抗のかくし芸大会を行い、マジックあり、合奏あり、寸劇あり踊りありとメンバー、ファミリーみんなで盛り上がり親睦を深めました。

この他にも平安徳義会の夏祭り、京都部部会、リトセン及びサバエワーク、ポテトファンドワーク、みやこ作業所ふれあい祭りやYMCA関連、京都部関連の行事に積極的に参加いたしました。

年間を通じてウエストクラブでは月に１度の西山放置竹林の整備事業に地域奉仕事業委員会を中心に取り組んでおり、正月にはワーク後、現地にてメネットさんたちのご協力のもとおぜんざいをご用意いただく予定です。またこの竹林ワークにもゲストにお越しいただくこと予定しています。

上半期活動報告

京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長　**柴田信幸**

めいぷるクラブ慣例の期首第一例会はサバエ開設準備ワーク(昨年7月10日)。当日は天候に恵まれ過ぎて熱中症を心配しながらの作業ではありましたが、息の合ったチームワークで恒例のゲート組み立てを完成。このメンバーのパワーがあれば未熟な会長でもこの一年を何とか乗り切れると確信した今期スタートの一日でした。(他力本願)

8月以降は、事業活動や会合が目白押しで、良くない言い方をすれば「こなしていく」のに精一杯の状態ではありましたが、中でも継続事業である支援先の積慶園や西陣会へ支援金を贈る以外に支援先が開催するイベントに今期も出向いてお手伝いができたことは大変有意義でありました。昨年も子供たちにたくさんの笑顔と楽しい思い出をもらいましたので、そのお返しができるよう、今後の支援につなげていきたいと思います。

今期の活動計画のひとつに東日本大震災に関連する活動や支援を計画しました。被災者のことを忘れない、震災を風化させない、という目的で震災から9ヶ月経った12月に市民防災センターで「防災例会」を開催しました。センターでは様々な災害を疑似体験しその恐怖を知ると共に、被害を少しでも軽減させるための防災について学ぶことができました。被災された方々への支援も計画していましたが、上半期ではしっかりとした形での支援ができていません。残る下半期で協議を重ね、めいぷるクラブとして形のある支援をできるよう努力していきます。

先輩方にアドバイスいただいた通り、あっという間の6ヶ月間でした。自分自身、そしてクラブが目指す目標にしっかり方向が定まっているのか?ひとつひとつ確認していく間も無く今日まで来てしまった感じです。これからの後半戦は、もう少し落ち着いてじっくり楽しむ位の余裕を持って、その責任を果たしていければと思います。

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長　**八木悠祐**

会長になり半年がたちました。役職への緊張感のせいか、あっという間に過ぎ去ったというのが感想です。西日本区大会をホストした直後の期とあって、クラブが活気溢れるなかでのスタートとなりました。燃え尽き症候群への懸念もしておりましたが、いつもと変わらぬメンバー全員の熱い気持ちで、半期の事業を無事終えることができました。さらに今期は、東日本大震災の直後ということもあり、今まで以上にボランティアクラブとしてのワイズメンズクラブの活動の真価が問われていると感じております。京都YMCAさんが、いろいろな復興支援活動や、避難者へのサポートをご企画いただき、より身近に今回の災害の悲惨さを感じることができました。今後も被災者や避難者さんに寄り添えるようなクラブ運営を心がけて行きたいと考えております。

さて下期にも本当にたくさんの事業が控えております。交流におきましてはIBC・DBCともに訪問する年となっております。メタセコイヤフェスティバルには、いまキャピタルクラブが支援させていただいている団体に加え、福島の避難者の方々にもご参加いただき、ワイズメンズクラブの事業を知っていただき、また皆さんで楽しい時間を持ちたいと考えております。CATTの合同例会も今期は当クラブが幹事となっております。クラブメンバーを超えて、交流しあえる事業が本当に沢山あります。多くのクラブメンバーが各事業に参加することにより、他クラブや他団体の方々からいいものを吸収できます。そして何より、クラブ内の懇親がより深まりもっとワイズメンズクラブを好きになれると考えます。下期もキャピタルクラブは全力で頑張ってまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

上半期活動報告

京都プリンスワイズメンズクラブ
会 長　**岡　西　博　司**

今年、我クラブにとって一番大事な事は、クラブの活性化です。その為に何をするか？ＹＭＣＡとの関わりを強めてみよう。その事が楽しいんだという事を、メンバーのみんなに知ってもらおう。そんな事を考えて、出発した７月でした。

８月には、京都ＹＭＣＡの行っている、「青い空と白い雲のキャンプ」を例会扱いとして、メンバーに参加のお願いをしました。一泊二日のキャンプですが、一日でも良いから出席して欲しい。そんな声に応えて頂き、仕事で忙しい中、数名でしたが出席していただけました。

９月には、僕たちのＣＳ事業で、昨年より関わりだした「マイマイ秋のキャンプ」にも、委員会挙げて積極的に関わっていただきました。二泊三日のキャンプでしたが、ぜんざいを作ったり、一緒に登山をしたりで、本当に楽しい一時を体験できました。

11月には、京都ＹＭＣＡのリトセンでの「オータムフェスタ」に初めてクラブとして参加し、又ぜんざいを提供しました。その折には新入メンバー２名も共に参加していただき、京都中のワイズメンとの交流に心より楽しんでもらえ、二人にとっても又、我々メンバーにとっても、心より楽しめた例会になりました。

まだ、半分ですが、共に汗し、共に楽しむ事が、楽しいんだという事を少しでも体験できたのではなかったかなと思っています。これがメンバー増に繋がり、クラブの活性化に繋がってくれる事を心より願っています。

きっと、今期の終わりには、クラブが少しでも上向いている事を信じて頑張って行きたいと思っています。

京都センチュリーワイズメンズクラブ
会 長　**駒　谷　憲　美**

７月の引き継ぎ式から始まり気が付けば上半期がすぎて、いよいよ残りも半年となりました。今期クラブはメンバーの増強と言うことを目標にスタートしました。
何から始めるかを考えた結果、楽しい例会を心がけ多くのゲストに来てもらい又講師の方々にも、センチュリークラブの例会にまた行きたいと思ってもらえるよう常にメンバー全員が意識し取り組んできました。
７月のキックオフ例会では、縁起が良い京こまのルーツから始まり、８月納涼例会（宇治の鵜飼）には、ゲストが10名参加して頂きました。９月は福知山でのスポーツ大会、10月例会はシミ抜きの技術、11月例会は今注目されている女子サッカーから､元日本代表の大谷未央、京都精華中高等学校のサッカー部顧問山本浩介先生に講師をしてもらいました。これにもゲストが10名参加して頂きました。12月は和気あいあいとクラブないでのクリスマス例会となっています。

地域奉仕については、毎年参加している白川学園の８月21日夏祭りに参加フランクフルト出店。

ファンドも地産、地消で今期から新米ファンドを始めメンバーで精米から袋詰めまでしました。

色んな取り組みをしながら進んでますが、まだまだクラブの目標のメンバー増強に至っていません。下半期も今している活動が徐々に結果に現れて来るものと信じ頑張っていきたいと思います。

上半期活動報告

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長　**島本浩晃**

早いもので、今期も半年が過ぎました。当クラブでは、様々な議論もありながらも、事業計画通り順調に進んでいるのではないかと思っています。具体的には次の通りです。

＊Ｙサ委員会：青い空と白い雲キャンプ支援ほか多数事業の実施

＊地域奉仕委員会：授産施設バザーサポートほか多数事業の実施

＊ＥＭＣ委員会：ワイズの勉強会としてワイズ塾の実施（年間６回）

＊ファンド委員会：ジャガイモやその他ファンド事業実施

＊ブリテン委員会：月１回のブリテン発行
ブリテンに対するメンバーの読後感の収集等、例年にない試みの実施

＊ドライバー委員会：一泊例会やクリスマス例会等充実した例会の実施

＊交流委員会：有志ではあるが、IBC締結先の金浦クラブへのキムチ漬け訪問の実施

＊インド基金委員会：インド教育プログラムへの資金援助

各委員会でこのような事業を実施しましたが、当クラブの特徴は、メンバー間の仲の良さであると思っています。下期もメンバーが一層団結し、クラブを盛り上げていけることを願っています。

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長　**太田雅彦**

上半期の主なクラブ活動を月別にまとめさせて頂きます。【７月】サバエキャンプ場の開設ワーク作業に参加、洛中クラブが以前に寄贈したのアーチェリー設備の組立ても。YMCA三条の前にて祇園祭り宵山向けに京都クラブと合同で屋台出店、洛中はポップコーン。【８月】養護施設『つばさ園』の子どもたち・先生方々と、一つは松尾橋付近にて子ども花火大会を開催、二つにはサバエキャンプ場に招待、カヌー・水泳やバーベキューパーティ、すいか割りなどで楽しい一日となりました。今月は台湾で開催されたアジア大会へ、IBC台北大橋クラブ交流を兼ねて参加。【９月】福知山の地で開催の京都部部会に参加、とても印象に残る部会でした。当月第二例会は部長公式訪問を京都みやびクラブとの合同例会で開催。【10月】ファンド事業のワイズポテト等の販売、昨年は不作のため半減となり今年の受注を心配するも、一昨年の９割くらいまで復活できたことに、こころを強くしました。今期特徴ある行事として「ＥＭＣ＆ファミリー野外例会」を計画、とても久しぶりにリトセンにて例会を開催。【11月】京都ＹＭＣＡ国際協力街頭募金に協力、今年は天候不順でこどもたちの応援が無く残念。リトセンオータムフェスタへつばさ園の子どもたちを招待並びにポップコーンで屋台出店。【12月】京都ＹＭＣＡクリスマスロビーコンサートに『ハーモニカ演奏会』で企画協力。クリスマスファミリー例会は、昨年同様に４クラブ合同で盛大に開催し、今年はホストを務めました。【むすび】これらの行事はほとんど何度か経験して来たものにかかわらず、ひとつずつ毎月の役員会で検討を重ね、関係全てのみなさんのおかげで、事前準備と当日実行ができましたことに感謝いたします。そして下期も変わらぬ活動をお願いいたします。

上半期活動報告

京都エイブルワイズメンズクラブ
会 長　**梅 谷 隆 雄**

エイブルクラブ第22期上半期においては、当初の方針の通り、宇治に根差した例会を持つことを基本方針にし、宇治地域のスピーカーの講義を聴くことを、主な主眼とし例会を進めてきたところです。

８月は、宇治と言えば何をおいても、まずは、お茶の話を講義していただき、江戸時代のお茶壺道中にも出てくるお茶師という代々受け継がれた仕事が有り、これが豊臣秀吉の時代からあったという事を知りました。宇治地域の講師には新撰組と幕末の京都を題材にお話をお聞きしましたが。残念ながら宇治にまで影響は余り無かったようです。

９月には、宇治生涯学習センターにて、宇治の方々と共に歌声広場を開催し楽しい時間を過ごしました。

10月には、今の宇治小倉地域の生い立ちとも言うべき小椋池の干拓についてご教授願い、小椋池の大さや、今では考えられない地域にまで広がる小椋池の広大さを知ることが出来ました。

12月の例会には、女性鵜匠の講師を招き、なぜ日本中を探しても数少ない女性鵜匠になったのか、又、なれたのかなどの質問もあり大変盛り上がりました。その答えは、講師は、長良川地方の出身で在り、鵜匠に少なからず興味を持っていたが長良川鵜匠というのは、家元制度が有り、ましてや女性が成れるものではなかった、しかし、宇治の鵜飼の鵜匠にはその制約はなく、志あるものはなることが出来たという事でした。

その他の例会は、総会から始まり、納涼例会、京都部会、部長公式訪問、宇治福祉祭り又、４クラブ合同 Xmas 例会で締めくくりました。

京都グローバルワイズメンズクラブ
会 長　**中 島　　勝**

６月26日の「リトセン夏季準備ワーク」から始まった上半期の活動もあっという間に終わったような気がします。7月６日の総会では新たに２名のメンバーを迎え、総勢57名となりました。７月29日、メルパルク京都にて京都部EMC事業懇談会が開催されました。今期はグローバルクラブより西日本区に大岩EMC事業主任及び京都部に萩原EMC事業主査を輩出していることもあり、総勢71名のご参加を頂き、大変有意義な盛り上がった懇談会となりました。８月17日の部長公式訪問の際には、京都部から前部長・今村交流事業主査・山中メネット事業主査にお越し頂き、我々グローバルクラブが長年支援しております修光学園の森理事長様の「東日本大震災に対しての想い」を聞いて頂きました。９月11日、福知山の三段池公園にて開催された京都部部会では、応援合戦の部で優勝をさせて頂きました。９月21日の２V例会では、台風15号の接近にも拘らず、23名のメンバー候補をお招きし、IBCクラブである台中エバーフロークラブよりご送金頂いた20万円とクラブから30万円を加えて総額50万円を「東日本大震災救援復興募金」として京都YMCAへ贈呈させて頂きました。10月19日にはグランドプリンスホテル京都にて、プリンスクラブとウェルクラブとの３クラブの合同例会を行い、お互いの絆を深めました。12月18日にはメネット・コメット・ゲスト総勢112名にて、クリスマス家族例会を開催させて頂きました。その他にも数多くの事業を行わせて頂きました。そして、何よりも今期は大岩EMC事業主任と一緒に多くの部会にも参加させて頂き、多くのワイズの気付きを得ることが出来ましたことを付け加えまして、上半期の活動報告とさせて頂きます。

上半期活動報告

京都みやびワイズメンズクラブ
会 長　**武 本　　聡**

今期のみやびクラブは、「京都部会を成功裏に無事終えられるか！」と、この一大イベントにみやびの全エネルギーを注入することが私の今期におかれた立場と理解します。前期に実行委員会を立ち上げ各パートに分かれ、夫々が準備を進め今期に入って益々エンジンがかかり、あとは本番を迎えるばかりとなり、部会前日より体育館へ機材の搬入を行い夜は地元にメンバー・メネット・コメット共宿泊致しました。当日は、早朝より会場へ行き福知山クラブの皆さんと準備にかかりました。部キャビネットは８時よりの評議会に参加。部会開会は、バスの到着の遅れなどの影響で半時間以上の遅延で始まりましたが、プログラム通り競技などを実施し閉会は定刻時間を少し過ぎた程度でした。奇跡に近いとの声がみやび内で聞かれました。みやびクラブ総動員の部会ホストとなり、無事終えることが出来ました。改めて、在京クラブの皆様には遠方にも拘らずご出席頂き、又他部からも御出席頂き約300名もの参加者で部会を無事終えることができ、感謝に堪えません。お礼申し上げます。福知山クラブの皆様にも、何度もの準備打合せにご参加頂き、又当日の地元関係への手配、大会景品、飲食等の手配にご協力頂き福知山クラブの皆様のお力添えで部会が成功裏に終えることが出来ました（感謝）。

慣れぬ会長職の私は、部会ホストに一年分のエネルギーを使い果たしたような気分です。これは、私だけなのかも？。先輩メンバーは例年と変わらず、リトセン、サバエワーク、洛西寮夏祭り模擬店、鴨川納涼模擬店等7・8月に活動を行っています。部会以後も変わらず活動を行っていますが、私より年齢もずっと上なのにあのパワーはどこから生まれてくるのでしょうか。まだまだ足元にも及ばない会長ですが、下半期も変わらずサポートをお願い致します。

京都トップスワイズメンズクラブ
会 長　**東 田 吉 末**

トップスクラブでは、今期も「メンバー増強」をクラブの根幹にしており、半期を過ぎ今４名の新メンバー獲得しております。メンバーが増えると言う事を手放しで喜ぶ事無く親睦を大事にし、新しいメンバーを中堅へ、そして新たなメンバー獲得　そのサイクルの確立をしっかりとしたものにしないといけないと考えます。

また、今期の会長主題を「ONE STEP BEYOND !」（新たなる一歩・一歩前へ）にさせて頂き　メンバーにチャレンジする心・目標に向かって進む気持ちを掲げております。その効果かどうか分かりませんが、３度あった東日本震災復興ボランティアには、我クラブから計11人の参加者を数える事が出来ました。これは、在京クラブの中では１番多い人数であり誇らしい限りです。

事業においては、Ｙサ委員会でリトセンのワーク・震災関連のサポート・オータムフェスタでのぐんぐんハウスサポート。地域奉仕では、ぐんぐんハウス秋祭りのお手伝いと模擬店の出店。ファンドでは、ジャガイモのみならず松茸やボジョレーそして車検まで委員一人々が知恵を凝らしてお得感いっぱいの品を揃えて下さってます。ブリテンでは新しく“あなたの会社のエコなところ”と言うコーナーを創り各会社でのエコに対する取り組みの紹介やメネット会で集めているエコキャップの集計情報、京都部・西日本区で活躍しているメンバーに事業の取り組み内容の紹介などを行い、広くY'smenの組織理解を図ります。ドライバーでは、メンバーの親睦を第一に心掛けて頂き“飲め飲めビール例会”や　マジシャンを招いての“マジック例会”。基本に立ち返り勉強する“献金解読例会”などを企画して頂きました。

ビジョンでは、新しいメンバーへのフォローや20周年に向けた事業の模索などをしています。そして　何よりも次期の京都部部長の輩出と言う事で私達には京都部部会のホストの役割が有ります。その為　京都部部会実行委員会を立ち上げ　新山Ysを中心に素晴らしい部会にするため機運を高めております。“皆様こうご期待”そして残念なのは私達のIBC先の韓国プサン西面クラブが突然のキャンセルにより訪日が叶わず、交流が出来なかった事です。また期を見つけ親睦の輪を広げたいと思います。引き続き精力的に活動し膨張と親睦そして潤いを追い求めたいと思います。

上半期活動報告

京都トゥービーワイズメンズクラブ
会　長　**石　井　康　史**

会長主題「笑門来福」を基に、メンバー増強、そして何よりも一人ひとりが楽しむことを一番と考え、いろいろな取り組みを行ないました。以下具体的な活動報告です。

今期より、月１回のオリエンテーションの実施（８月より）・フェイスブック　クラブページ開設。

上半期、12 回の例会実施（ゲストスピーカーによる７回の EMC 等例会、部長公式訪問、部会例会振替、入会式、ファミリー例会など）・メンバーによる５分間スピーチ。

メンバー同士が刺激し合える小部屋（親睦会）３回実施（メネットのみ１回）。

ブリテンをみんなに見て貰いたいからこそ、見るから書くブリテンへ　毎月１巻の発行。

東日本大震災義援金クラブ独自に募金活動　３回実施　YMCA を通じて募金。

6/26	リトセン夏期準備ワーク	４名参加
7/06	府立医大こども夏祭り	16名参加
8/27	大阪なかのしまクラブ・今井利子ワイズ最優秀ワイズメン賞・受賞を祝う会	６名参加
9/04	リトセン秋期準備ワーク	５名参加
9/14	DBC 大阪なかのしまクラブ９月例会訪問	９名参加
11/06	ワイズデー・国際協力募金	６名参加
11/23	リトセンオータムフェスタ・福島県震災避難者による芋煮会サポート	12名参加
12/16	YMCA ロビーコンサート・クリスマスキャロリング　ホスト	10名参加

京都東稜ワイズメンズクラブ
会　長　**近　藤　　勉**

今期もクラブメンバーに支えられ、半期を終えることが出来ました。７月のクラブ総会に始まり、毎月、すばらしい講師をお迎えするなどして例会を開催することが出来ました。９月例会は京都部会を例会と位置づけ、多くのメンバーと福知山で楽しい例会に参加でき、運営クラブの皆様には本当に感謝いたします。

東稜クラブでは、通常例会とは別に毎月、山科地区を中心に行う清掃活動も行っています。７月には、東稜クラブの呼びかけで多くのクラブの皆様にお手伝い頂き、祇園祭ゴミの分別清掃活動も行いました。年々、ゴミの少ない美しい祇園祭を見ることが出来るようになり、楽しみにしています。是非、この活動が多くの方に理解され、拡大していくことを願います。

その他、てんとう虫マラソン大会の運営協力、ＥＭＣの方では保津川下りを体験するなど、メンバーシップを深める活動も充実して、各イベントにそれぞれ委員長の創意工夫が光っていたと思います。

前半期は、日本全体が東日本大震災の復興という状況の中、東稜クラブらしい活動ができたのではないかと思います。

後半期は、新たにメンバーを迎えられる予定もございます。より一層メンバーシップの強化に務め、楽しく東稜クラブらしいクラブ活動を目指します。

上半期活動報告

京都ウェルワイズメンズクラブ
会 長 **松 田 博 一**

『Proud of Well 』
～誇り高きウェルクラブ～

この７月より早や半年が過ぎました。２回目の会長職とはいえ、大変早く感じるものだと改めて実感しています。

今期は、本来ウェルクラブが行ってきたＹＭＣＡへのサービスを軸に、例会を自己研鑽と親睦の場とし、誇りあるワイズメンとしてクラブをおこなっていきたいと考えて、活動してきました。

そのために

① 月２回の例会開催
② 三役会、役員会、委員会の正常な運営
③ 自己研鑽
④ クラブ員相互の親睦
⑤ ＹＭＣＡへのサービス

以上をクラブの柱としてクラブ運営を行ってきました。現在のところ、この点については概ね達成できているのではないでしょうか。

①と②については、プリンスクラブの協力の下、ホテル例会・野外例会を各月に行うことができています。三役会、役員会、委員会活動も同様です。

④も少ないメンバーではありますが、出席率もよくよい例会を持つことができています。

⑤については、「サバエ開設ワーク」「ソラシドキャンプ」「リトセンワーク」「オータムフェスタ」「ロビーコンサート」など､計画通りに進めることができています。

以上の点から、③の自己研鑽もそれなりに（笑）達成できているものと確信しています。

残りの半期も、少ないメンバーではありますが、一致団結して頑張って行きたいと思いますので、皆様よろしくお願いいたします。

京都ＺＥＲＯワイズメンズクラブ
会 長 **高 倉 英 理**

ＺＥＲＯクラブ２期目となる今期は「楽しみましょう！ＺＥＲＯクラブを！ ～一人一人を大切に、人と人とのつながりを大切に～」という会長主題のもと、ドライバー委員会ではメンバー同士の親睦をもっと深めるため、メンバースピーチ主体の例会を行いました。クリスマス例会では、メネット、コメット、ゲストを含め４５名の例会となり、楽しいクリスマスを過ごしました。またＥＭＣ委員会ではメンバー倍増計画に基づき、パワーポイントを使ったクラブ説明資料を制作、12 月に初のオリエンテーション例会を開催しました。10 名のゲストに参加頂き、下半期には毎月入会式が開催されそうな勢いです。Ｙサ委員会ではオータムフェスタを例会振替とし、マッタケごはん、ナン＋カレーソース、ピザを提供し行列の出来る屋台となりました。ＣＳ委員会ではこぐま上野保育園の夏祭りに参加し、地域のみなさんと交流しました。またその屋台の収益で、東北の野蒜保育園に夏祭りセットと玩具等を送りました。

まだまだ切磋琢磨の連続ですが、メンバー同士の親睦も深まり、みんなの意識、意欲が高まってきているのを肌で感じています。これからますます楽しみなＺＥＲＯクラブです。

下半期に向けて

京都部　次期部長
船　木　順　司

上半期を終え、ゴールに向かう前部長期、昨年２月より約一年間、京都部役員として様々な経験をさせていただいた事を皆様に心より感謝致します。そして、前部長はじめキャビネットの皆様、役員主査の皆様へはエネルギッシュな活躍に敬意を表します。京都部と言う立ち位置でワイズメンズクラブを眺め活動する事により多くの気付きが有り、次期への準備に於いても大変参考にさせて頂いております。主査決定の際、各クラブに依頼した所、快く承諾快諾いただき速やかに次期主査の皆様を決定する事も出来ました。１月には西日本区次期役員研修会にキャビネットと共に参加させて頂き、次期西日本区役員の皆様、次期主任、次期部長の熱い思いを感じ、次期への思いを募らせる事ができ大変満足致しております。京都部役員としてワイズメンの心意気を幾多となく感じさせて頂いた上半期でした。下半期に於いても前部長の支えと成り、京都部ワイズメンの皆様とのふれあいを大切に京都部発展の一助を担いたいと思います。次期への思いを募らせ前部長より速やかなバトンタッチが出来るよう非力ではございますが努力を重ねて行く事を皆様にお約束いたします。感謝！

京都部　直前部長
阪　田　民　明

京都部16期も前登部長とキャビネットの指導力の下、各主査様の団結とお働きより、上半期事業を無事に終える事が出来ました。部役員の一員として、前部長の活動に協力し、部事業や各主査様の活動を円滑に推進して頂くために積極的に係わってまいりました。京都部は西日本区で最大のメンバー数を誇り、リーダー的部で在るがゆえに問題も多くありました。しかし、役員会では熱い議論を交わし、すべてが積極的で前向きな姿勢で運営されてきました。

下半期も色々な事業が計画されています。各クラブにも多くの事業や目標が掲げられております。その計画を最後まで推進され、是非、皆さんの力で各クラブを活性化していただきたいと思います。その活性化こそがワイズ全体の発展に繋がります。

次期の足音が少し聞こえてきています。そろそろ引継ぎの準備も必要な時期に成りました。『終わり良ければ全て良し』の精神で下半期をメンバー全員で楽しく活動しましょう。

京都部　監事
山　中　將　平

京都部役員、各クラブの皆様のご努力に感謝致します。上半期の多くの事業、プログラムは皆様のご協力により成果が得られました。特に上半期最大のイベントである第16回京都部部会を福知山綜合体育館で開催されたことに大きな意義がありました。今までの部会と異なり、運動会形式で行なわれ、参加者が次第に競技に夢中になり、各クラブの交流も例年以上だったと思います。また京都みやびクラブの団結力と低迷していると言われる福知山クラブの底力を感じました。京都市内、京都府南部に京都部の各クラブが集中し、府北部唯一の福知山クラブへの京都部各クラブ、メンバーの理解、協力等に課題がありましたが、理解を得る良い機会となったと思います。前登部長は部長主題の通り、思いやりと感謝の気持を絶えず持たれ、慌てず、焦らず一歩ずつ着実に京都部の運営をされておられ、三役、事業主査の皆さんは部長と同じ目線、方向性を持って事業を運営されています。年度末には目標の達成を含め、大きな成果と京都部各クラブ、西日本区から高い評価を得られると確信しております。

YMCAサービス・ユース事業主査
伊　藤　　剛

早いもので京都部第16期も下期がスタートしました。昨年６月のリトセン開設ワークに始まり、サバエキャンプ場開設ワーク、青い空と白い雲のキャンプ、ワイズデー国際協力街頭募金、リトセンオータムフェスタ、京都YMCAクリスマスロビーコンサート・キャロリング等、多くの事業にご協力頂きまして誠にありがとうございました。また、主査として部長公式訪問の随行などを通じて、新たに多くのワイズメンの皆さんと交流出来たことに感謝致します。

下半期も多くの事業が控えておりますが、その中で、今期の京都部主催のゴルフ大会は「東日本大震災復興支援チャリティ」として開催させて頂きます。また、例年通り２月15日が献金の締め切り日となっております。Ｙサ・ユース献金にご理解賜りまして100%の目標達成を宜しくお願い致します。今期のＹサ・ユース事業では、「次世代をリードする若者を西日本区から育てよう！」ということで、一つの部から一人のユース派遣を目標に、ユースコンボケーションへの参加支援することを重点事業の一つとしております。今回はノルウェーでの開催となり、一人当たりの費用も高額になるため、ユース２コインという形でのお願いとなりました。併せて、ご協力を宜しくお願い致します。

その他、車いす駅伝、夜桜フェスタ、YYフォーラム、そしてかもがわチャリティーランなど多くの事業が続きます。皆様のご協力よろしくお願い致します。

地域奉仕・環境事業主査
堤　　雄　次

今期上半期の活動報告と致しましては、いままで横浜で開催されていた、ＡＩＤＳ文化フォーラムを京都でも開催することになり、ＡＩＤＳ文化フォーラムin京都運営委員会が、京都府、京都市共催で発足しました。

この運営委員会の事務局として、京都ＹＭＣＡが参加されることとなり、京都部も協力することになりました。

なにぶん、初めての取り組みでしたので、８月27日京都部地域奉仕・環境事業委員会を開催して、京都部の各クラブに協力依頼を御願いしました。10月１日２日の開催期間において、スタッフとして参加協力をしていただいた方々に感謝もうしあげます。また「薬害エイズと闘う」と言う題目で、家西　悟様にスピーチを依頼しました。プログラムには、後援と協賛の欄にワイズメンズクラブを記載してもらいました。

今期は上記のＡＩＤＳ文化フォーラムを地域奉仕・環境事業における、ワイズデーに準ずる事業とさしていただきましたことにより、今期ワイズデーは国際協力街頭募金への協力、と言う形をとらせていただきました。また今期は、めいぷるクラブ様にボウリング大会準備をしてもらっています。

下半期に向けて

EMC事業主査

萩 原 隆 人

今期「常時500名体制維持」を掲げ期初473名でスタートした京都部では、この半期に23名の新入会員を迎え退会7名を合わせて12月末で489名となりました。

12クラブにおいて新入会員を獲得された事は京都部の皆様が危機感や意識を持って活動されている証と思います。

京都部は「平均年齢調査」の結果を見ますと2006年にはメンバー数458人平均年齢50.75歳、2011年は473人51.04歳とほぼ同じという事が明らかになりました。メンバー数こそ大きく増えてはいませんが５年を経過しても年齢が変わらないという事は常に新しいメンバーが入り続けていることだと思います。

７月に開催しました懇談会では全18クラブが参加され、各クラブから今期の抱負や決意表明をしていただきました。そして、この号が出るころには終わっていますが、１月開催のシンポジウムを実りあるものとして後期により一層の弾みをつけたいと思っております。

後期もメンバー一人一人の意識と行動によって、京都部と各クラブが発展していきますよう一緒に活動お願いいたします。

ファンド事業主査

吉 田 忠 文

上半期は「初心忘るべからず」を主題として、ＢＦ使用済み切手収集がファンド事業の原点であることを再認識し、「無から有を生む」精神性を大切にし、世界のワイズメンの共有事業であることを各クラブにPRしてまいりました。BF代表の応募が無かったことは残念ですが、次期の課題として積極的に応募されることを期待いたします。

下半期は特に前半はBF切手の締め切りが１月末、京都部からも一部送付いたしました。BF現金は昨年11月の西日本区役員会において一ドル90円で換算されることが決定し、2月15日締め切りで各クラブ15ドル＝1,350円となります。今期も全クラブ達成できます様ご協力よろしくお願いいたします。

EFの換算は1ドル＝90円でこれも2月15日締め切りです。JWF献金は随時受け付けておりますので一人でも多くの方の献金をお待ちしております。

クラブファンドは各クラブの独自性を尊重し多種多様なファンドが展開されていますが資金から基金としてのクラブファンド事業の基本姿勢を忘れず、クラブ活性化の原動力として展開されますようお願いします。

交流事業主査

今 村 隆 宏

交流事業主査を務めさせて頂くにあたり、主題を『思いやりをカタチに』とし、そのカタチとは行動力を意味しています。心のこもった交流とその親睦こそが、大きな絆となり輪となり、より大きな力になると。

今期がスタートして間もない９月９日に京都部交流懇親会を開催いたしました。西日本区交流事業主任の廣瀬一雄ワイズにもご参加頂き、各クラブから38名、総勢43名の参加で交流の場を持てました。交流事業としての活動方針、活動計画をそれぞれ発表して頂きました。新しいメンバーにも多数参加して頂き、クラブを越えた交流と親睦を深める大切さを感じて頂けたのではないでしょうか。その２日後には福知山にて京都部会が開催され、より京都部の輪がしっかりと太くなったような気がしました。合同例会も各クラブが企画して頂き、それぞれ開催して頂いているようです。IBC、DBCの締結に関しましては、それぞれ１クラブが結ぶ為に調整をされていると聞いております。まだ未締結のクラブには引き続き素晴らしい交流事例を紹介して推進して行きたいと思います。残りの下半期は、より絆を太くしっかりとした繋がりを持てるようにしていければと思います。

広報事業主査

倉 田 正 昭

７月にスタートした京都部役員も半年が経過し、最終コーナーをまわる時期となりました。しかし、何か起こるかわからないこの世の中では油断は大敵です。７月スタートとは言え、その準備は半年前から始まっているので、実質は１年が過ぎたという感じです。一方次期部役員も決まり、その準備も少しずつ動き始めているようです。そのためにも今期で培った事柄を次期に伝えたいと思います

部長公式訪問に随行して、各クラブでスピーチをする機会と経験を与えていただき、その中で考えが整理されて来るのを感じました。

今期、西日本区主任はクラブリーフレットの作成とその配布を２ヶ月毎に集計することを提案されて、各クラブからの報告は、京都部ＨＰでその中間報告をご覧いただくことが出来ます。

ＩＴ化が進む昨今、11月開催の京都ＹＭＣＡ祭をネットライブＴＶ中継したところ、留学生が歌う我が子の姿を自国フィリピンのお母さんがネットで見て感謝のお電話をいただいたというニュースもありました。広報というなかなか結果が現れない事業に、一つの光を投じてくれました。

ネットワークで世界のワイズメンをつなげたいという願いから、「ワイズＩＴ勉強会」を12月に催し、多くの方々に参加していただき好評を博しました。そのアンケート結果は京都部ＨＰに載せてあります。facebookというソーシャルメディアが、世界のワイズメンをクラブ、部、区という垣根を超えて、一メンバーが世界に繋がる一つのきっかけになると確信しております。再度開催して、今後は、別な形で続けたいと思っております。

メネット事業主査

山 中 真理子

事業主査を勤めさせて頂いてからもう半年が過ぎ、このお役をさせて頂いて本当によかったと感じています。前期の柳田主査から暖かいアドバイスを頂き､引継ぎも速やかに行なうことができました。７月の熊本での西日本区メネット研修会は初めての方がほとんどの中、楽しい交流ができ、大澤主任を中心に西日本区メネット事業を絶対に成功させたいと思う気持ちになりました。メネット主査の一番大きな仕事は「京都部合同メネット会」の開催です。当初から我が洛中クラブのメネットで日英フラワーアレンジメント協会のチェアパースン、河辺恭子さんにフラワーアレンジメントのご指導をお願いし、ブリザー

下半期に向けて

ブドの作品作りを体験して頂きたいと考えていました。洛中クラブのメネット、コメットの協力も得て、私の望み通りのメネット会を開催することができました。浅岡西日本区理事、前京都部部長、大澤主任、菅書記を含め、約50名のご参加を頂き、楽しい時間を持つことができました。部長公式訪問は京都、パレス、ウエスト、グローバル、ゼロを訪問し、とても緊張しましたが、どのクラブも暖かく迎えて頂き、多くの献金ご協力と出会いもあり、幸せを感じています。各クラブのご協力により、西日本区メネット事業は120万円の目標額もほぼ達成し、60名以上のボランティアが被災地で活動しました。後半年、メネット主査を楽しみたいと思います。

京都部書記
森　　泰弘

書記を拝命して、準備期間を含め約1年になります。この1年間には、未曾有の災害の東日本大震災があり、復興の道筋を示されることの無き時期にスタートしました。京都部、在京クラブの行事も懸念されておりましたが、無事半期を終えることができました。殊更今期は、福知山で京都部部会の開催を企画し、第2回評議会も同会場での開催を決行し京都部役員及び在京クラブ会長各位のご協力で定刻に開催できました事、感謝です。

下半期も、上半期同様引き続き変わらぬご協力よろしくお願いします。

京都部会計
岡崎保則

第16期の前部長の京都部の半期が過ぎ、あらかた大きな事業も終了し、気分はすでに競馬で言えば第4コーナーを過ぎ最後の直線という気分になってしまっています。ちょっと気が早いかもしれませんね。反省です。14期の山中部長のもと京都部会計を担当し、今回が2回目の京都部会計ですが、少しマンネリになり部長や他の役員方々をサポートするどころか前半は、足を引っぱってしまったような気がします。ここで手綱を引き締め、残り半年足らず、頑張って行きたいと思います。皆様には、京都部後期部費の納入といろいろとご協力をお願いしなければなりません。今後とも宜しくお願いします。

京都部事務局長
有澤泰伸

部の一員となり早半期が過ぎましたが、私自身がまわりに対しお役に立てているのか今一度振り返りながら原稿を作成しています。昨年3月の西日本区会長・主査研修会で、次期会長の皆様と部キャビネットが一堂に会しミーティングさせて頂いたのがスタート時点だと思います。最初は、私自身初心者の如く役職に慣れるのに必死で職務をこなしていましたが、だんだんと慣れて行き、そのうち少々驕りなどが出てきました。この緩みが、最近痛い目に合っています。メールの送受信で整理を怠り、確認するのに非常に手間取っています。もう一度初心に戻り、円滑な流れを取り戻そうと反省しきりです。恐らく皆さんも、私と同じような事例が起きていないでしょうか。思い当たる人がいらっしゃる場合は、初心にかえることが大切だと思います。残りも半年を切りました。最後まで手を抜くことなく、お役に立てるように、もうひと頑張りです。

京都部 2011～2012 年度 上半期の歩み

５月20日	Ｙサ・ユース懇談会
６月19日	第１回部評議会
７月１日	第１回部役員会
８日	ファンド懇談会
19日	部長公式訪問　京都キャピタルクラブ
22日	メネット引継会
29日	ＥＭＣ懇談会
８月５日	第２回部役員会
10日	部長公式訪問　京都トゥービークラブ
17日	部長公式訪問　京都グローバルクラブ
18日	部長公式訪問　京都ウイングクラブ
22日	部長公式訪問　京都めいぷるクラブ
24日	部長公式訪問　京都パレスクラブ
27日	地域奉仕・環境懇談会
31日	部報第１報（ＨＰ）
９月２日	第３回部役員会
９日	交流懇談会
11日	第２回部評議会
11日	京都部会
13日	部長公式訪問　京都クラブ
14日	部長公式訪問　京都トップスクラブ
16日	広報懇談会
22日	部長公式訪問　京都洛中・京都みやびクラブ
10月1.2日	AIDS 文化フォーラム
５日	部長公式訪問　京都プリンス・京都ウエルクラブ
７日	第４回部役員会
９日	メネット部会
13日	部長公式訪問　京都東稜クラブ
25日	部長公式訪問　京都エイブルクラブ
11月４日	第５回部役員会
６日	ワイズデー・街頭募金
10日	部長公式訪問　京都ZEROクラブ
24日	部長公式訪問　京都ウエストクラブ
12月２日	第６回部役員会
９日	広報ワイズ IT 勉強会

下半期予定

１月６日	第７回部役員会
8.9日	西日本区次期役員研修会
19日	部長公式訪問　京都センチュリークラブ
27日	ＥＭＣシンポジュウム
29日	京都部第９回ＣＳチャリティーボーリング大会
２月３日	第８回部役員会（現・次期合同）
12日	第３回部評議会
14日	部長公式訪問　福知山クラブ
15日	クラシックコンサートの集い
18日	創立123周年記念会員集会
19日	全国車イス駅伝
25日	京都プリンスクラブ25周年記念例会
29日	部報第２報発行
３月２日	第９回部役員会
10.11日	西日本区次期会長・主査研修会
11日	卒業リーダー祝会
18日	ＹＭＣＡリトセンチャリティーゴルフコンペ
４月６日	第10回部役員会
21日	ＹＹフォーラム
21日	リトセン夜桜フェスタ
22日	京都パレスクラブ41周年例会
５月４日	第 11 回部役員会
20日	かもがわチャリティーラン
６月１日	第12回部役員会（現・次期合同）
９日	西日本区代議員会、西日本区大会
10日	西日本区大会
24日	第４回部評議会
（30日）	部報第３報（ＨＰ）

次期役員・クラブ会長　決定

船木順司次期部長のもと、京都部役員の皆様が決定致しました。

京都部　2012～2013年度　役員

役　　員	氏　　名	クラブ名
部　　長	船木順司	京都トップス
直前部長	前　　登	京都みやび
次期部長	桂　厚子	京都ウエスト
監　　事	阪田民明	京都グローバル
書　　記	河原正浩	京都トップス
書　　記	新山兼市	京都トップス
事務局長	加藤信一	京都トップス
会　　計	河原祥博	京都トップス
統括連絡主事	加藤俊明	京都 YMCA
Yサ･ユース事業主査	山田英樹	京都キャピタル
地域奉仕･環境事業主査	坂下昌史	京都めいぷる
EMC 事業主査	為国光俊	京都パレス
ファンド事業主査	白濱廣史	京都エイブル
交流事業主査	高田敏尚	京都
広報事業主査	三科仁昭	京都東稜
メネット事業主査	渡部美代子	京都トップス

2012～2013年度　クラブ会長

クラブ名	会長名
京都ワイズメンズクラブ	杉本仁郎
福知山ワイズメンズクラブ	小林　稔
京都パレスワイズメンズクラブ	川勝政男
京都ウエストワイズメンズクラブ	市橋清太郎
京都めいぷるワイズメンズクラブ	馬場正孝
京都キャピタルワイズメンズクラブ	山口雅也
京都プリンスワイズメンズクラブ	小野敏明
京都センチュリーワイズメンズクラブ	大槻信二
京都ウイングワイズメンズクラブ	中村誠司
京都洛中ワイズメンズクラブ	坂井　昇
京都エイブルワイズメンズクラブ	大山裕巳
京都グローバルワイズメンズクラブ	松谷隆史
京都みやびワイズメンズクラブ	森　泰弘
京都トップスワイズメンズクラブ	牧野篤史
京都トゥービーワイズメンズクラブ	荒谷和可子
京都東稜ワイズメンズクラブ	高安秀樹
京都ウエルワイズメンズクラブ	中村隆司
京都 ZERO ワイズメンズクラブ	藤井　隆

次々期部長　決定

2011年9月1日に告示しました次々期部長立候補につきまして、京都ウエストクラブより「桂厚子ワイズ」が立候補され、所定の手続きにより第3回評議会に於いて満場一致で承認を頂き決定致しました。

京都部　第16回　部会決算

部会ホストの京都みやびクラブより部会決算が京都部役員会に提出され、審議の結果承認されました。

	科　　目	金　額
収入の部	登録費（@ 6,000 × 290 名）	1,740,000
	登録費（@ 3,000 × 3 名）	9,000
	京都部補助金　1,000 × 477 名	477,000
	送迎バス料金　2,100 × 63 名	132,300
	収入合計	2,358,300
支出の部	会場費	62,220
	競技備品	540,058
	謝礼人件費	460,600
	飲食費	657,405
	交通費　保険	208,340
	印刷事務　雑費	181,690
	剰余金	247,987
	支出合計	2,358,300

次期京都部　第17回　部会案内

第17回　京都部部会
Enjoy！ Kyoto

日　時　2012年9月9日（日）
会　場　ウエスティン都ホテル京都

登録受付：14：00～西館2Ｆ

開会：15：00 西館4Ｆ　瑞穂の間

第一部　15:00～　式典
第二部　17:00～　元気が出るライブ　嘉門達夫 氏
第三部　18:00～　懇親会

ホストクラブ：京都トップスワイズメンズクラブ

第 16 回　京都部会　福知山三段池公園体育館　2011.9.11

（ユニカール競技）

（玉入れ競技）

第 1 回評議会　2011.6.19

第 2 回評議会　2011.9.11

東日本大震災ボランティア　2011.9.16～19

エイズ文化フォーラム　2011.10.1･2

ワイズデー国際協力街頭募金　2011.11.6

リトセンオータムフェスタ　2011.11.23

広報ＩＴ勉強会　2011.12.9

EMC シンポジュウム　2012.1.27

ＣＳチャリティーボーリング大会　2012.1.29

第３回評議会　2012.2.12